

制計画に積極的に参加していることは前にも述べました。特に地上局のアンテナ本体と給電部の建設計画には重要な役割を果たしています。昭和52年度に打ち上げが予定されている通信衛星・放送衛星用地上局には準ミリ波帯用パラボラアンテナが設置されることになっています。電波天文グループは、衛星管制実験が終了次第、天文観測にこれらのアンテナを利用できないか現在検討しています。なにぶん天文グループは少人数でありこれら準ミリ波系の観測まで手がまわるかどうかわかりませんが、日本にまだ数少ない貴重なものであり、支所の方々の協力を得てうまく生かしていきたいと考えています。

輝く明日の日本のために

大変おどろきに鹿島支所の現況と電波天文グループ

の研究内容と将来計画について述べさせて頂きました。

大学研究機関と異なり、私達官庁研究機関の研究は国家事業と密接に結びついています。そのため研究内容が一つのワクにはめられていることは否めません。しかし国家事業を日本の将来のため真に有意義なものとする様努力する姿勢や、更に自分達独自の課題を追求してゆく姿勢が次第に生まれつつあることも確かです。この姿勢を発展させてゆくには大変な努力が必要でしょう。しかし10年後、20年後にはきっと鹿島支所は新しいタイプの研究所としてダイナミックな活動をしていることと思います。

VIVA YOUNG KASHIMA!

輝く明日の日本のために

掲 示 板

第8回 月・惑星シンポジウム

上記のシンポジウムを東京大学宇宙航空研究所において、1975年6月18日(水)、19日(木)、20日(金)にわたり開催します。お誘いあわせの上、多数御参加いただけますようお願いいたします。

問合せ先: 〒153 東京都目黒区駒場 4-6-1
 東京大学宇宙航空研究所 高柳和夫
 電話 03-467-1111 (内) 484, 495

— 訂 正 —

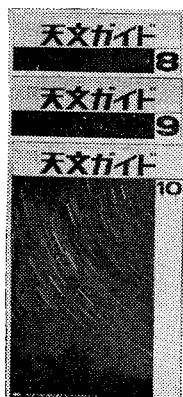
昭和50年春季年会の講演第17番は、5月27日(火)午前最後の最後ですが、予稿集に誤まって記載されておりますので、おわびして訂正します。

★★★★★★★★★★★★

— わが国唯一の天体観測雑誌 —

天文ガイド

毎月5日発売! 定価240円(〒32)



天文ファンの人たちに毎月の天文現象の案内や、ニュースの紹介をするとともに、望遠鏡の作り方、観測ガイド、天体写真の写し方など実用記事も掲載。
 また、読者の写した天体写真、星座写真等たくさん作品や望遠鏡の自作レポートも網羅。

誠文堂新光社 東京・神田錦町一—五 振替・東京六二九四

★★★★★★★★★★★★

天文に興味を持ちはじめた小学校上級生から中学校1年生ぐらいの子供たちのための天文入門書

星空の12ヵ月

古畑正秋著 / A4判 / 定価 900円

12枚の毎月の星図を中心に、星座の話、星の明るさ、金星や火星の動き、流星、月のこと、天の川、変光星のことなど、はじめて星に心をうばわれた少年たちにはわかるようにやさしく説明してあります
 ■おもな内容——星座のさがしかた / 星座の歴史 / 星座の表 / 星の明るさ / 日出、日入の薄明 / 1月の空 / 冬の空 / 2月の空 / 3月の空 / 4月の空 / 5月の空 / 6月の空 / 7月の空 / 8月の空 / 9月の空 / 10月の空 / 11月の空 / 12月の空 / 流星の動き / その他